

創立147周年

8月号（令和2年7月31日発行）



kurosyou-dayori

鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

子ども達にも拍手を

校長 森 愛子

学校再開から二ヶ月。明日から二週間の夏休みです。子ども達は毎日、本当によく学び、よく遊びました。傘を手放せないじめじめした日が続いたり、寒暖差が激しかったりと過ごしにくい日が多く、体調を崩す子もいましたが、早めに休むなど各家庭で健康管理へのご配慮をしていただき、ありがとうございました。学習も順調に進み、前期末には「あゆみ」で子ども達の学校での様子と評価をお伝えできる予定です。今年度は、新学習指導要領全面実施に伴い、評価の観点も全教科統一され、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」と変わりましたので、「あゆみ」の形式も変わりました。本来ならば、学校説明会にて学校経営方針も踏まえて説明させていただきたいところですが、現状では難しく、9月に分散での懇談会を実施いたしますので、各学級で説明いたします。複数回の来校となる方にはお手数をおかけいたしますが、ご協力よろしくをお願いいたします。

夏休み明けも、コロナ禍における生活様式を守りつつ、感染症拡大防止に努め、できる範囲での充実した教育活動を進めたいと思います。そのためにも、生活リズムや栄養バランスを崩さぬよう、よろしくをお願いいたします。これからは、体調に不安のある場合は、子どもも大人も早めに休み、回復するまでは人との接触を自粛することもマナーの一つとなります。お子さんが体調不良の場合は、学校に連絡の上、自宅療養をお願いいたします。その際、気を付けることを子ども達には朝会で話しましたが、例えば休んでいる人のことを「感染したのでは」などと噂したり、クラスの欠席が多いからと不安がったりすると、休みづらくなり、逆に感染拡大防止の妨げとなります。不安定な世の中だからこそ、相手の気持ちを考える行動が求められています。

日本赤十字社が早い段階から、新型コロナウイルスが怖いのは「三つの感染症」という顔があることだと言っています。第一は「病気」第二は「不安」第三は「差別」です。見えない敵(ウイルス)への不安から特定の対象を見える敵とみなして嫌悪の対象とする。嫌悪の対象を偏見・差別し遠ざけることで束の間の安心感が得られるという負のスパイラルに陥らないようにするためには、「みんなそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っている」「自宅待機をしている人も、治療を受けている人とその家族も、医療従事者も頑張っている」という視点で、それぞれの立場でできることを行いみんなが一つになることが大切だということです。鉄小の子ども達全員、仲間と支え合い、ここまで本当によく我慢し、頑張ってきました。首都圏の感染拡大がこれ以上進まぬことを願い、子ども達の楽しみにしている活動が少しでも実現できるよう、準備を進めて参ります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、どうぞ健康に留意され、お元気でお過ごしくさいますようお祈り申し上げます。